勤務部会主催

産科領域の感染管理について学ぶ！

分娩介助、母乳ケア、新生児ケアにおける感染予防、産科領域の感染症なども含めた感染管理について学びました。

講師：聖路加国際病院　QI センター　　坂本史衣先生
　アメリカ感染仮疫学資格認定機構（CBIC）による感染制御認定資格（CIC）取得

Ⅰ　基本的な感染予防策～標準予防策～

　私たちの手の皮膚には１㎠の中に 50,000～500,000 個の細菌が存在し、中には２時間以上も生存する微生物も！
手指消毒の適切な方法と責任を再確認しました。

Ⅱ　周産期特有の感染予防策

搾乳の保存時間・成人Ｔ細胞白血病をはじめとする感染症に関する基本的な考え方等について学びました。受講者からは、「乳房ケアの手袋の着用の必要の有無」「ウォーターサーバー使用の調乳の良否」など、日常業務の中での疑問点も質問に出ていました。
さらに妊娠初期での感染症抗体検査の妊娠後期での必要性についての質問は、早々に先生のブログで答えていただいています。

Ⅲ　参加者の感想

・勤務先で話し合いがもたれている内容だったので、大変参考になった。
・現場に即した「手洗いや消毒方法」の内容で実践できると思った。
・日常業務における対策（手袋の着用等）がよくわかった。

Ⅳ　次回のお知らせ

研修会：**「助産師のクリニカルラダー」**
　講師：日本助産師会　福井トシ子氏
　日時：平成 26 年９月 27 日（土）１３：３０～１６：３０　受付：１３：００～
　場所：会立助産院　とわ助産院　鶴見駅徒歩３分
※平成 27 年８月から ALL　JAPAN による助産師実践能力習熟段階レベルⅢの認証制度が開始される予定です。助産師教育体制や、自己のキャリアデザインについて考える機会です。